


一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

令和5年 5月 24日

山北町議会議長 石田 照子 殿

受付番号	第4号	質問議員	4番	高橋 純子 
件名	持続可能で効果的な住民移動交通システムの構築を			
要 旨				
<p>高齢者福祉タクシー事業やオンデマンドタクシー試運転、町内循環バス（愛称ぐるりん）が運行している町の公共交通事業において、運営改善を望む声も寄せられており、持続可能な住民の移動手段について、解決すべき課題が山積していると思われます。</p> <p>NPO等による自家用車を使用した有償旅客運送や、福祉輸送、スクールバス、病院や商業施設などの民間事業者による送迎サービス、シンプルで押しやすいボタン型オンデマンドバス予約システムの活用等、様々な移動手段を取り入れることで、個々のニーズに寄り添うことも可能になると思われ、これらの自発的に取り組む意欲を軸にした移送サービスを、総合的にコーディネートする役割を町が担い、持続可能で効果的な移動手段の構築による、暮らしやすい町づくりの必要性を痛感しているところです。</p> <p>また、ご高齢者の外出支援を強化することは、健康づくりや個々人の生きがいにつながり、生活の質の向上はもちろん、医療費の増加抑制にもつながられる可能性があり、レトロな趣の循環バスは、観光資源としての側面を強調しながら、住民の移動手段としても活用できるよう工夫をすることで、町の新たな魅力づくりと人材雇用の一助となるのではないかと考えます。</p> <p>このような状況をふまえ、以下の質問をします。</p>				
<p>(1)町民の交通政策の重要性に対する位置付けと今後の展望について、町の考えを伺う。</p> <p>(2)国土交通省のホームページに記載されているような「パーソントリップ調査」を山北町でも実施し、町民のニーズの把握を行うべきだと思うが、町の考えは。</p>				

(3)買い物難民解消のために、福祉の観点からの町の施策について、今後の展望を伺う。

(4)循環バスを観光資源に利活用するための、交通政策としての中長期的な計画について、町の考えを伺う。